

おごせ 教育 Pick Up

越生小学校



9月7日に学校保健委員会が開催され、講師の公認スポーツ栄養士の田久保美香先生から、「成長期における食事」をテーマに睡眠、運動の大切さも学びました。参加した保護者や6年生は興味深く聞き入っていました。

梅園小学校

9月12、13日に1泊2日で5年生が小川げんきプラザへ宿泊学習に行きました。キャンプファイヤーやカレー作りなど友だちと協力して生活しました。教室では学べないたくさんの体験をし、思い出深い2日間となりました。



越生中学校

8月17日に、PTA奉仕作業が行われました。当日は、生徒、職員、保護者に加えて、越生町消防団や商工会青年部の皆様にもご協力いただき、200名を超える活動となりました。お陰様で、校地内の整備も整い、夏休み明けの授業を迎えることができました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

「地域の方々との触れ合い」で楽しみます。「保育園まつり」に、園児のお父さん、おじいさんが本物に親しんでほしいと太鼓や笛を披露、子どもたちも音に合わせて楽しく踊ります。本物の音に触れることで園児たちも越生町伝統の越生まつりに興味を持ち、いつもはおとなしい子が太鼓のバチを持ち、笑顔で力強く叩くようになりました。

芸術の秋。年長児が陶芸教室でお皿や箸置き作りにチャレンジします。保育園では粘土で練習。当日は、本物の土をこね、粘土とは違う感触に

越生保育園は、「笑顔とあいさつ」を合言葉に一日が始まります。園児たちの意欲的な活動の中から笑顔がいつばいの保育園を目指しています。

《地域の方々との触れ合い》
暑い夏。手作りの太鼓や笛で楽しみます。「保育園まつり」に、園児のお父さん、おじいさんが本物に親しんでほしいと太鼓や笛を披露、子どもたちも音に合わせて楽しく踊ります。本物の音に触れることで園児たちも越生町伝統の越生まつりに興味を持ち、いつもはおとなしい子が太鼓のバチを持ち、笑顔で力強く叩くようになりました。

ズームイン教育266
地域に支えられ
子どもたちの
笑顔あふれる保育園

越生保育園



本物の太鼓と笛の音に合わせて楽しく踊りました

ドキドキしながらいざ本番。出来上がった作品を家に持ち帰ると「飾ったよ!」、「お皿使ったよ」と笑顔の報告が返ってきます。

寒い冬。歌のプレゼントを持って童謡をうたう会の方々が来園してくれます。サンタクロースと一緒に聞いたことのある歌や、保育園で歌っている歌を口ずさみ、初めて聞く歌には耳を澄まします。

畑をお借りし、一年を通して野菜作り。野菜の名前を教わり、ブルーベリー園では収穫する喜びを味わっています。いろいろな人と関わり、出会うことで自然にあいさつができるようになりました。

これからも子どもたちのチャレンジする気持ちを大切に、笑顔あふれる保育園をつくっていきます。

越生浪漫

No. 129

越生人物往来⑦

越生四郎左衛門、
北畠頭家を討つ



北畠頭家銅像（阿倍野神社）

9月の初め、越生町に所縁ある二人の若武者の墓を訪ねて、大阪に行ってきた◆
「頭家卿をば、武蔵国の越生四郎左衛門尉討ちたてまつりしかば、首をば丹後国の住人、武藤右京進政清これを取つて、冑・太刀・刀まで進覧したりければ、師直これを実検して、疑ふところ無かりしかば、抽賞御感の御教書を兩人にぞくだされける」『太平記』巻第十九に載る、延元3（建武5年（1338）5月22日、北畠頭家の最期です◆北畠頭家は公家出身の武将で、各地を転戦して後醍醐天皇を支えま



阿倍野神社（大阪市阿倍野区北畠）

した。二十歳で散った、眉目秀麗な才人と伝えられる頭家は、彼の地では篤く追慕されています。『太平記』が終焉の地とする大阪市阿倍野区北畠には、頭家と父頭房を祭神とする阿倍野神社が祀られています。近くの王子町には頭家の墓所があり、北畠公園として整備されています◆現在は、頭家は和泉国で南北両軍が激突した、「石津合戦」で討ち死にしたとする見解が一般的です。堺市の石津川に架かる太陽橋のもとには、地元の人びとが建てた五輪塔があり、鎮魂慰霊が続けられています◆『太平記』に一度だけ登場して、南朝の総大将を



「伝北畠頭家墓」大阪府史跡（大阪市阿倍野区王子町）



「あべの筋」に立つ「北畠頭家卿之墓」碑（北畠公園前）

打ち取るという拔群の戦功を挙げる越生四郎左衛門尉に關しては出自も、その後も不明です。建武5年に足利尊氏が発給した、甲斐国藤太郷（現山梨県南アルプス市藤田）の越生四郎左衛門尉の所領を内藤教泰に与えた文書が伝存しています。越生四郎左衛門尉は、鎌倉幕府方、あるいは後醍醐方として参戦して敗れ、所領を没収された後、尊氏方に下り、高師直に従ったものと推定されます◆越生四郎左



北畠頭家供養塔（堺市西区浜寺石津）

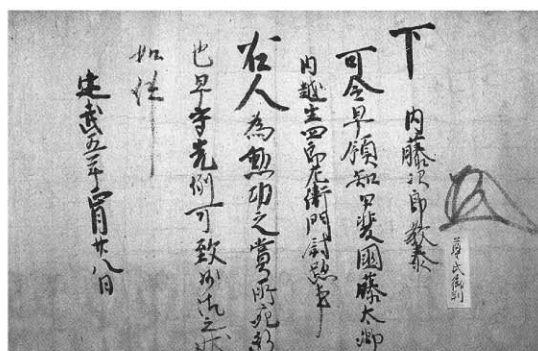


「石津合戦場」付近 太陽橋から石津川河口方面を望む

衛門尉は武士団武蔵七党児玉党一派越生氏の人物と思われる。山頂に土塁や空堀の跡のこる越生の高取山について、江戸幕府が編さんした地誌『新編武蔵風土記稿』は、「越生四郎左衛門屋敷跡」と紹介



高取山（越生町大字越生）



「足利尊氏袖判下文」『越生の歴史 古代・中世史料（古文書・記録）』所収

してあります◆探訪した頭家の遺蹟には、それぞれ詳しい解説板が設置されていました。しかし、いずれにも越生四郎左衛門尉の名前は見当たりませんでした。